

略語一覧

ACARS: Aircraft Communication Addressing and Reporting System (航空機空地データ通信システム)
 AW Geophys: Amt für Wehrgeophysik (ドイツ防衛庁地球物理研究所)
 CNRM: Centre National de Recherches Meteorologiques (フランス気象局国立研究センター)
 DLR: Deutscher Zentrum für Luft- und Raumfahrt (ドイツ航空宇宙センター)
 DWD: Deutscher Wetterdienst (ドイツ気象局)
 ERS-2: European Remote Sensing Satellite 2 (衛星の名前, 1995年に上がった2号機)
 GME: Globalmodell-Europamodell (ドイツ気象局全球ヨーロッパモデル)
 NASA/GSFC: Goddard Space Flight Center (米国航空宇宙局ゴッダード宇宙飛行センター)

NCAR: National Center for Atmospheric Research (米国大気研究センター)
 NCEP: National Center for Environmental Prediction (米国環境予報センター)
 ICM: Interdyscyplinarne Centrum Modelowania Matematycznego i Komputerowego (ワルシャワ大学数値計算モデリング共同研究センター)
 IIBR: Israel Institute for Biological Research (イスラエル生態学研究所)
 IMGW: Instytut Meteorologii i Gospodarki Wodnej (ポーランド気象研究所)
 RPN: Recherche en Prevision Numerique (カナダ気象局数値予報研究所)
 RUC: Rapid Update Cycle (NCEPの短時間解析同化サイクル)

第15回メソ気象研究会のお知らせ

冬季日本海に発生・発達するメソスケール擾乱をテーマに, 以下の内容で研究会を開きます。学会前日ですが, 関心のある方は奮って参加ください。

テーマ: 「冬季日本海の擾乱—JPCZから冬季雷まで—」

コンピーナー: 小林文明 (防衛大)

日時: 2000年5月23日(火) 14時~17時

場所: 気象研究所・講堂 (つくば市長峰1-1)

- 1 主旨説明 小林文明 (防衛大)
- 2 新野 宏, 柳瀬 亘 (東大海洋研)
「日本海のポーラーロウについて」
- 3 猪上 淳 (北大低温研)
「季節海氷域における気団変質」

- 4 山田広幸 (北大院理)
「レーダーでみた対流セルの発達過程」
- 5 村上正隆 (気象研)
「日本海上の降雪雲の内部構造」
- 6 河崎善一郎 (阪大院), 紫村孝嗣 (防衛大)
「冬季雷雲構造と雷観測」
- 7 吉崎正憲 (気象研)
「2001年1月日本海観測計画について」
- 8 総合討論

問い合わせ先: 吉崎正憲 (気象研究所)

〒305-0052 つくば市長峰1-1

電話0298-53-8631

e-mail: myoshiza@mri-jma.go.jp

「天気」2月号の落丁及び乱丁について

「天気」編集委員長・日本気象学会事務局

先月会員の皆様にお届けした「天気」2月号に対して, 会員の方から「123~140ページ」の落丁及び「157ページ~巻末広告」の乱丁のご指摘をいただきました。お手元の「天気」2月号をご覧になり, 万が一, 落

丁・乱丁がございましたら, 至急気象学会事務局まで連絡をお願いいたします。連絡を頂き次第, 早急に代品を送付いたします。会員の皆様には大変ご迷惑をおかけしましたことを, 深くお詫び申し上げます。